

座長一覧・進行表

	コラボステーション I 視聴覚ホール(2F)
8:30	開場、受付開始
9:25	開会の辞 大会長・山口 拓
9:30~10:45	一般演題 (A) 薬学実務・薬物依存・情動行動 座長：島添隆雄 (九州大・院薬・臨床育薬) 森 友久 (星薬大・薬品毒性)
10:45~12:00	一般演題 (B) 神経伝達物質/受容体・疼痛 座長：稲津正人 (東京医大・医学総合研) 石塚智子 (大阪歯大・薬理)
12:00~13:00	昼 食 (神経行動薬理若手研究者の集い 世話人会)
13:00~14:00	特別講演「精神疾患の臨床からみた動物モデルとは」 森信 繁 (広島大・院医歯薬総合) 座長：中川貴之 (京都大・院薬・生体機能解析)
14:00~15:15	一般演題 (C) 脳虚血・認知機能 座長：溝口広一 (東北薬大・機能形態) 森口茂樹 (東北大・院薬・薬理)
15:15~15:30	休 憩
15:30~17:30	シンポジウム「次世代に向けての行動薬理学とその新展開」 オーガナイザー：永井 拓 (名古屋大・院医・医療薬学) 山口 拓 (長崎国際大・薬・薬理)
17:30~	次年度開催案内、閉会の辞 大会長・山口 拓
18:00~	懇親会 (コラボステーション・コミュニティラウンジ1F)

プログラム

開会の辞

大会長 山口 拓 (長崎国際大学 薬学部 薬理学研究室)

9 : 25 ~

一般演題 (A) 薬学実務・薬物依存・情動行動

9 : 30 ~ 10 : 45

座長 : 島添隆雄 (九州大学 大学院薬学研究院 臨床育薬学分野)
森 友久 (星薬科大学 薬品毒性学教室)

A-1) 外来患者の残薬と削減可能な薬剤費に関する研究 ~節薬バッグを用いた取り組み~

○齋藤友亮¹⁾、打越英恵¹⁾、小柳香織^{1, 2)}、小林大介¹⁾、窪田敏夫¹⁾、高木淳一²⁾、
木原太郎²⁾、山浦竜雄²⁾、吉田武夫²⁾、三井所尊正²⁾、瀬尾 隆²⁾、島添隆雄¹⁾

¹⁾九州大学大学院薬学研究院臨床育薬学分野

²⁾社団法人 福岡市薬剤師会

A-2) Methamphetamine およびアルコール誘発報酬効果形成過程における type 1 1,4,5-trisphosphate receptors (IP₃Rs-1) の関与

○黒川和宏、水野晃治、大熊誠太郎
川崎医科大学薬理学教室

A-3) Involvement of sigma 1 receptor in the SSRI-induced suppression of the methamphetamine-induced behavioral sensitization and rewarding effects in mice

○Mahardian Rahmadi, Tomohisa Mori, Masahiro Shibasaki, Tsutomu Suzuki
Department of Toxicology, School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Hoshi University

A-4) Toll-like receptor 7 を介した脳内サイトカイン産生と情動調節機構

○久保靖憲、柳川芳毅、松本真知子、富樫廣子
北海道医療大学薬学部薬理学講座病態生理学

A-5) Adult Rats Subjected to Postnatal Stress Exposure are More Likely to Exhibit Behavioural Dysfunction

○Kerise Lyttle, Yu Ohmura, Takeshi Izumi, Takayuki Yoshida and Mitsuhiro Yoshioka
Department of Neuropharmacology, Hokkaido University Graduate School of Medicine

一般演題 (B) 神経伝達物質/受容体・疼痛

10 : 45 ~ 12 : 00

座長 : 稲津正人 (東京医科大学 医学総合研究所)

石塚智子 (大阪歯科大学 歯学部 薬理学講座)

B-1) 胃におけるうま味物質受容によるヒスタミン神経系の活性の変化

○石塚智子
大阪歯科大学 歯学部 薬理学講座

B-2) α_1 受容体サブタイプがラットの側坐核のドパミン放出抑制において果たす役割

○青野悠里¹⁾、三枝 禎¹⁾、田口寛子²⁾、越川憲明¹⁾

¹⁾ 日本大学歯学部薬理学教室、日本大学歯学部歯科矯正学教室

B-3) ترامadol 反復投与による神経障害性疼痛改善作用

榊山 実、前田早苗、白川久志、○中川貴之、金子周司

京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野

B-4) 慢性疼痛時における脂肪酸受容体 GPR40 の発現変動に対するアストロサイトの関与

○西中 崇¹⁾、里 尚也¹⁾、中本賀寿夫¹⁾、万倉三正²⁾、小山豊³⁾、糟谷史代⁴⁾、徳山尚吾¹⁾

¹⁾ 神戸学院大・薬・臨床薬学、²⁾ 備前化成株式会社、³⁾ 大阪大谷大・薬・薬理学、

⁴⁾ 神戸学院大・薬・毒性学

B-5) 抗がん剤 etoposide の反復投与による小腸における ERM の発現変化が

P-glycoprotein の発現量に及ぼす影響

○小堀宅郎、原田慎一、中本賀寿夫、徳山尚吾

神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室

昼食・世話人会

12:00~13:00

特別講演

13:00~14:00

座長：中川貴之（京都大学 大学院薬学研究科 生体機能解析学分野）

「精神疾患の臨床からみた動物モデルとは」

森信 繁

広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 精神神経医科学

ストレス脆弱性克服プロジェクト

一般演題（C） 脳虚血・認知機能

14:00~15:15

座長：溝口広一（東北薬科大学 機能形態学教室）

森口茂樹（東北大学 大学院薬学研究科 薬理学分野）

**C-1) 視床下部の orexin-A による脳虚血後高血糖および神経障害発現抑制作用
に対する視床下部-延髄系の役割**

○原田慎一、山崎由衣、徳山尚吾

神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室

**C-2) ミクログリア/マクロファージにおける TRPM2 を介した NO 産生が脳虚血傷害の
病態を悪化させる**

○崎元伸哉、白川久志、宗像将也、中川貴之、金子周司

京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野

C-3) Sigma-1 受容体賦活化による認知機能障害およびうつ様症状の改善効果

○森口茂樹、福永浩司
東北大学大学院薬学研究科薬理学分野

C-4) パーキンソン病モデルマウスの認知機能障害と nobiletin の改善作用

○矢吹 悌¹⁾、大泉 康^{2,3)}、福永浩司¹⁾
1) 東北大学大学院薬学研究科薬理学分野、2) 静岡県立大学薬学部、
3) 東北大学大学院 超臨界溶媒工学研究センター

C-5) 恐怖記憶における皮質ドーパミン作動性神経の役割

○平出幸子¹⁾、松本真知子¹⁾、山口 拓^{2,3)}、柳川芳毅¹⁾、久保靖憲¹⁾、井上純孝¹⁾、
吉岡充弘³⁾、富樫廣子¹⁾
1) 北医療大薬・病態生理、2) 長崎国際大・薬・薬理、3) 北大院・医・神経薬理

休 憩

15 : 15 ~ 15 : 30

シンポジウム

15 : 30 ~ 17 : 30

オーガナイザー：永井 拓（名古屋大学 大学院医学系研究科医療薬学・医学部附属病院薬剤部）
山口 拓（長崎国際大学 薬学部 薬理学研究室）

「次世代に向けての行動薬理学とその新展開」

S-1) アルコール依存症における脳機能変化の解析

○芝崎真裕、森 友久、鈴木 勉
星薬科大学薬品毒性学教室

S-2) うつ病動物モデルにおける母性行動の解析

○中川西 修、佐藤 敦、根本 互、八百板 富紀枝、只野 武、丹野 孝一
東北薬科大学 薬理学教室

S-3) 脳血管性認知症モデルラットの空間記憶障害に対する抑肝散の効果

○野上愛^{1,2)}、高崎浩太郎^{1,2)}、窪田香織^{1,2)}、桂林秀太郎²⁾、内田直樹³⁾、三島健一^{1,2)}、
藤原道弘^{1,2)}、西村良二³⁾、岩崎克典^{1,2)}
1) 福岡大学加齢脳科学研究所、2) 福岡大学薬学部臨床疾患薬理学教室
3) 福岡大学医学部精神医学教室

S-4) 薬物依存モデル動物の近視眼的意思決定

○溝口博之¹⁾、福本和哉¹⁾、王 天²⁾、佐藤 純¹⁾、山田清文²⁾
1) 名古屋大学環境医学研究所近未来環境シミュレーションセンター
2) 名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・附属病院薬剤部

次年度開催案内

17:30~

閉会の辞

大会長 山口 拓 (長崎国際大学 薬学部 薬理学研究室)

懇親会

18:00~

九州大学コラボステーション・コミュニティラウンジ(1F)

